



LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

下記休館日および、閉館時の返却はブックポストへ

- 図書館システムの更新に伴う休館期間(3/1~3/12)
- 休館日(3/20など毎月第3月曜日)

入口と反対側の国会通り沿いにブックポストを設置しています。閉館時の図書の返却にご利用ください。

※ブックポストに返却されてから実際に返却処理がされるまでには時間がかかります。ご了承ください。



【返却できないもの】

下記の資料はブックポストへの返却ができませんのでご注意ください。

- ⊗ 視聴覚資料(CD/カセットテープ/ビデオ/DVD)
- ⊗ 他の自治体から取り寄せた資料

日比谷カレッジ 報告

「現代短歌はこんなにおもしろい」

日時:1月20日(金) 講師:東 直子(歌人、作家)

近年ますます人気が高まっている、短歌の魅力に迫る講演会が開催されました。短歌の基本的な仕組みをふまえて、具体的な出来事を詠んだ「エピソード型短歌」、語感が強く印象に残る「言葉派短歌」のほか、講師が影響を受けた短歌も紹介、解説いただきました。参加者からは「リフレインや音の響きの楽しみ方を知った」といった感想が寄せられました。



皆さんの心に刺さる一首が見つかったかもしれません。

3月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パーブルゾーン 『東京に出会う』(3/13~7/14) NEW!

東京の下町や郊外の範囲は時代とともに広がり、そこを舞台に物語が生まれました。一方で、上京した人たちが持つ東京への膨らんだイメージは、また違った物語を生み出しました。東京というまちと人が出会って生み出される物語を地図にして、もう一度歩いて欲しいと思います。

3F ブルーゾーン 『映画的な本棚-CINEMATIC SHELF-』(～6/16) NEW!

映画は昔も今も特別な娯楽です。新しいメディアが次々に登場し娯楽が多様化する今、映画の魅力に注目が集まっています。映画好きもそうでない人も、この展示をきっかけにお気に入りの一本を見つけませんか。

展示 PICK UP

■2F エレベーターホール

～3/24(金)

林野庁×日比谷カレッジ関連展示

これからの森林。可能性は、無限大。

～国民参加の森林づくり、建築物の木造化、森林と健康～



展示の様子

最近、木造ビルの話題が増えてきました。そこにはカーボンニュートラル達成とともに、森林や木材に触れ合うことで心と体に良いなど、様々な効果が科学的にも検証され、注目されています。本や資料を手にとって、あるいはカレッジに参加して、地球を気づかい、私たちの健康も気づかう《木づくり》、はじめてみませんか？



『Savoir & Faire 木』

- エルメス財団 編
- 講談社
- 2021年

『森林未来会議 森を活かす 仕組みをつくる』

- 熊崎実・速水亨・石崎涼子 編著
- 築地書館 ● 2019年



■3F グリーンゾーン【哲学・歴史・自然科学】の本を集めたゾーン

～5/12(金)



↓グリーンゾーン入口にて展示しています。

コロナ禍により、「接触」についてマイナスイメージが生まれました。この展示では、《手》をキーワードに「さわる」ということについて、また人や自然、モノとの「ふれあい」や、周囲との「ささえあい」について書かれた本を集めました。繋がりやコミュニケーションについて今一度じっくりと考えてみませんか？



←「ふれあい」に関する本を集めたコーナー。



『人はなぜ 握手をするのか』

- エラ・アル＝シャマヒー 著
- 草思社
- 2022年

『指さしと相互行為』

- 安井永子・杉浦秀行 編
- ひつじ書房
- 2019年



桜を見に行こう！



春の訪れと共に一斉に花を咲かせ、どんなときも変わらず美しい姿で私たちを楽しませてくれる桜。千代田区では1984(昭和59)年に一般公募によって、桜が区花として制定されました。区内には千鳥ヶ淵をはじめとして桜の名所が多くあり、毎年お花見の人たちで賑わいます。今年の春は、千代田の桜を見にいきませんか？



写真提供 / 一般社団法人千代田区観光協会

千代田の桜

桜には多くの種類がありますが、区内の桜の大半はソメイヨシノです。一斉に咲いて空が満開の桜色になる姿は江戸時代から錦絵に描かれていましたが、江戸時代に描かれた桜は当時の人々の想い描いたあこがれの景色でした。ソメイヨシノは、明治初頭に日本人のお花見への理想を詰め込んで、品種改良を重ね全国に拡がりました。



その他にも、千代田区には東京の桜開花宣言の基準になる標本木がある靖国神社や北の丸公園、国会前庭など桜の名所があります。※各所ではお花見の場所取りや宴会などは禁止されています。散策でお楽しみください。

【千鳥ヶ淵】CHIDORIGAFUCHI

桜の名所で知られる千鳥ヶ淵の一角には、1,000本以上の桜が植えられています。その中で、区営の千鳥ヶ淵ポートは、お濠沿いに咲く桜を水面から眺められるので人気です。YouTubeの東京千鳥ヶ淵ライブカメラでは、開花状況をリアルタイムで見ることができます。



▲YouTube 「東京千鳥ヶ淵ライブカメラ」

【日比谷公園】HIBIYA PARK

園内では多種多様な桜を楽しむことができます。雲形池では、鶴の噴水と池に映る桜が美しく、かもめの広場の桜は、お花見の場所として人気です。また、祝田門近くで少し早く咲くオオカンザクラも見応えがありオススメです。

calendar 開館時間:平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日

2023年 3月							2023年 4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4						1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。

千代田区立図書館 全館休館のお知らせ

千代田区立図書館は、図書館システムの更新を行うため、次の期間、全館休館するとともに、サービスを一時休止いたします。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

● 休館日 3月1日(水)~3月12日(日)

※貸出施設の予約・利用ならびに日比谷カレッジの参加申込受付も利用いただけません。※休館中は電話も不通となります。その他の詳細については、千代田区立図書館のホームページをご確認ください。

access

- 〔都営地下鉄〕
 - 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
 - 〔東京メトロ〕
 - 丸の内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
 - 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
 - JR「新橋駅」徒歩10分
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

2・3月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

3/16 (木) 漢字でひもとく 動物たちの伝説と現実

講師: 円満字 二郎(フリーライター)

「不如帰(ほととぎす)」「麒麟(きりん)」「狼狽(ろうばい)」「狸々(しょうじょう)」など、動物を表す漢字の中には、少し掘り下げると不思議な伝説が姿を現すものが少なくありません。それらを具体的に紹介しながら、伝説の背景にある現実と、古人の豊かな想像力について考えます。



- 日時: 3月16日(木) 14:00~15:30(13:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名
- 参加費: 1000円

3/17 (金) サトシンの 絵本みんなで楽しみまショー

講師: サトシン(絵本作家)

人気絵本作家・サトシンさんが日比谷カレッジに登場します。絵本の読み聞かせと動画や弾き語りを組み合わせた「読み聞かせライブ」の実演のほか、保護者や司書、教職者に向けたお話し会の展開ノウハウ等も余すところなくご披露いただきます。当日は、おとなも子どもも楽しめること間違いなしです。



- 日時: 3月17日(金) 18:30~20:00(18:00開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(未就学児無料)

3/18 (土) 千代田区民講座 自分のからだは自分で守る

講師: 中島 昞保(中島カイロプラクティックセンター院長)

自然医療であるカイロプラクティックは骨格構造、特に脊椎・骨盤を中心に調整して、体全体を治療していくことを主眼としています。今回の講座では自然治癒力の高いからだづくりについて分かりやすくお話しします。



- 日時: 3月18日(土) 14:00~15:30(13:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 60名
- 参加費: 無料

3/24 (金) 林野庁×日比谷カレッジ これからの森林。可能性は、無限大。 ~国民参加の森林づくり、建築物の木造化、森林と健康~

講師: 森下 興(林野庁企画課 課長)

恒次 祐子(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)

瀬上 清貴(NPO森林セラピーソサエティ 理事長)

木材ビルが話題になるなど森林や木材への注目が高まっています。森林・木材はカーボンニュートラルに貢献し、森林や木材に触れることで心や体の健康へよい効果をもたらすと科学的にも検証されています。3名の講師から森林利用の意義や効果についてお話しします。



森下 興 恒次 祐子 瀬上 清貴

- 日時: 3月24日(金) 19:00~20:45(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名
- 参加費: 1000円

4/13 (木) 日比谷オペラ塾 「オペラ・あ・ら・かると」(全3回)

オペラ初心者から愛好者までが楽しめる多彩なオペラの魅力を縦横に紹介します。全3回のうち4月は、『アイダ』や『トゥーランドット』などのスペクタクルな演出家として知られるフランコ・ゼッフィレリの魅力、音楽評論家の石戸谷結子さんにお話しいただきます。



フランコ・ゼッフィレリ (1923-2019) Bernard Gotfryd photo

- 日時: 4月13日(木) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 各回60名
- 参加費: 各回1500円

4/18 (火) 星のソムリエ® 星空教室 第3回「星座占い、星と踊る」

講師: 皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)、北崎 直子(星のソムリエ®みたか)

毎日発表される星座占い。太陽の通り道に十二の星座を描き、神と信じた惑星たちが行進します。宇宙の距離が近かった時代の古代人が考えた占星術。しかし正確さを追求し天文学が生み落とされました。今宵の「星空教室」は科学的な視点で眺めた星座と人の繋がりがテーマ。星のソムリエ®がご案内します。



アルデバラン(おうし座)東 (撮影: 皆川 敏春)

- 日時: 4月18日(火) 19:00~21:00(18:30開場)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員: 40名 ■ 参加費: 1000円

4/20 (木) 翻訳者が語る 世界文学への旅3 バンド・デシネで読み解くフランス文学と文化

講師: 原 正人(フランス語翻訳家)

独特の表現で現地のファンに愛されるフランス語圏のマンガ「バンド・デシネ」。フランス文学原作だけでなく、古今東西の世界文学のバンド・デシネ版が邦訳されています。今回はバンド・デシネの文学との関係に着目しながら、その豊かな世界をご紹介します。



文学原作のバンド・デシネ

- 日時: 4月20日(木) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

4/25 (火) こどもの読書週間 in 千代田区立図書館<ヨムキクちよだ2023> 絵本の可能性を広げる —今世界で、起きていること

講師: 松岡 希代子(板橋区立美術館館長)

絵本を取り巻く世界の動きの中から、目の見えない人のためのイタリアの触る絵本、社会運動としてのインドのタラブックスの試み、そしてヨーロッパを中心とした文字なし絵本「サイレントブック」についてお話しします。絵本の持つ新しい役割と可能性を考えましょう。



さわる絵本

- 日時: 4月25日(火) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名
- 参加費: 500円(千代田区民 無料)

特別研究室所蔵資料に見る

江戸・東京 行事と暮らし ~春夏秋冬~

3月31日(金)まで
休館日▶3月1日(水)~12日(日)、20日(月)

特別研究室所蔵の江戸・東京資料にはその時季ならではの風景や行事の様子が残されており、江戸・明治期の暮らしに触れることが出来ます。今回の企画展示ではそれらの蔵書の中から主に現在では行われていない風習や年中行事、春夏秋冬の景色などの資料を紹介しています。



浮世十二月 三月 (尾形月耕 画 / 『浮世十二月』 / 1890年)

◆ 主な展示図書 『江戸名所図会』『風俗画報』『都の華』『東京百事流行案内』ほか

- ◆ 開室時間: 平日 10:00~20:00、土曜 10:00~18:00、日曜・祝日 10:00~16:00
- ◆ 会場: 4階特別研究室 ◆ 入場無料

3/24 (金) 関連講座 古書で紐解く近現代史セミナー 第43回 江戸から東京への移り変わり — 筋違広小路一帯のあり方を中心に

講師: 松山 恵(明治大学文学部准教授)

かつて江戸と呼ばれた都市は、どのようなプロセスをへて東京となったのだろうか?そして、そのとき、人びととその暮らしぶりにはどのような変化が起こったのか? 今回の講演では、「八つ小路」とも呼ばれ、江戸有数の広場であった筋違広小路一帯に注目しながら、その移り変わりをたどります。



- 日時: 3月24日(金) 14:00~15:30(13:30開場)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民・学生500円) ※住所が確認できるもの、学生証をご提示ください。

【日比谷カレッジのお申し込みについて】 図書館システムの更新に伴う全館休館の3月1日(水)~12日(日)の期間中、電話・お申し込みフォームともに日比谷カレッジのお申し込み受付ができません。3月13日(月)10時からお申し込み受付を再開いたします。

この作品を書いたのは誰だ!?

仮面をつけた 33人の 作家たち

千代田区のスポットが登場する作品と作家33人を展示パネルで紹介。千代田区関連以外の著書も数冊ずつ紹介していますが、作家名はすべてマスクングされています。マスクングされている作家名を、パネルの紹介文や展示本をヒントに当ててください。 ※全問解答者にプレゼントあり(数量限定)

- 会期: 開催中~4月22日(土) ※2月26日(日)、3月1日(水)~12日(日)、3月26日(日)は休館
- 場所: 千代田図書館9階 展示ウォール

